

連絡先:自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL:03-5253-8111 内線 42354
 アドレス: http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成27年1月9日

リコール届出番号	3499	リコール開始日	平成27年1月10日	
届出者の氏名又は名称	三菱農機株式会社 代表取締役社長 鳥取 勝美		〔問い合わせ先:品質統括部〕 TEL 0852-52-3030	
不具合の部位(部品名)	①動力伝達装置(オイルフィルター) ②動力伝達装置(油圧ホース) ③動力伝達装置(油圧アダプタ) ④原動機(ラジエーターホース) ⑤動力伝達装置(主変速レバー) ⑥燃料装置(燃料ホース)			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>① 動力伝達装置において、HST(静油圧式無段変速機)へ作動油を供給する回路内のオイルフィルターの接続方向を誤って指示したため、フィルターが逆向きに組み付けられたものがある。そのため、フィルター詰まり等で圧力が上昇した場合、エレメントの一部が剥がれオイルの流路を塞ぎ、最悪の場合、走行が不能となるおそれがある。</p> <p>② 動力伝達装置において、HST(静油圧式無段変速機)ホースの取り付け角度の設計が不適切なため、ホース又はクランプがカウンターケースと接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、機体振動によりホースに亀裂が発生し作動油が漏れ、最悪の場合、走行が不能となるおそれがある。</p> <p>③ 動力伝達装置において、油圧ポンプ吐出側アダプタの形状が不適切なため、機体振動によってアダプタが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、アダプタから作動油が漏れ、最悪の場合、走行が不能となるおそれがある。</p> <p>④ 原動機冷却装置において、ラジエーターホースの取り回しが不適切なため、ホースをとめるクランプがホースに食い込んでいるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、機体振動によりホースの亀裂が進行し、最悪の場合、冷却水が漏れるおそれがある。</p> <p>⑤ 動力伝達装置において、主変速レバー取り付け部のフレーム剛性が不足しているため、フレームがたわみ主変速レバー支点部の位置が移動する場合がある。また、トランスミッションの固定方法が不適切なため、車軸からの負荷でトランスミッションケースに回転トルクがかかり、HST(静油圧式無段変速機)トラニオン位置が変化する場合がある。そのため、主変速レバーを中立位置にしても、機体が停止しないおそれがある。</p> <p>⑥ 燃料装置において、燃料ホースの固定指示が不適切なため、燃料ホースがエンジン部品等に接触するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、エンジン振動により燃料ホースが損傷し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</p>			
改善措置の内容	<p>①全車両、新品のフィルターを正規の方向に組付ける。</p> <p>②全車両、ホースの取り付け角度を修正する。また、ホース又はクランプに損傷がある場合は新品に交換する。</p> <p>③全車両、油圧アダプタを対策品に交換する。</p> <p>④全車両、ホースクランプを対策品に交換し、更にホースの配策方法を変更する。</p> <p>⑤全車両、対策部品を追加する。</p> <p>⑥全車両、クランプを追加して燃料ホースが接触しないように固定する。また、燃料ホースの損傷を点検し、損傷がある場合は新品と交換する。</p>			
不具合件数	①0件、②1件、③0件、④0件、⑤2件、⑥0件	事故の有無	無し	

発見の動機	②,③,④,他社からの情報による。①,⑤,⑥社内からの情報による。
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので周知させるための措置はとらない。 ・対策実施済車には、型式銘板の近傍にNo.3499のステッカーを貼付する。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	VC14D	「V211」	C14D-10011 ~C14D-10118 平成 25 年 9 月 27 日~平成 26 年 9 月 11 日	102	① 87 ② 101 ③ 102 ④ 101 ⑤ 52
		「V214」	C14D-30011~C14D-30103 平成 25 年 9 月 27 日~平成 26 年 9 月 10 日	88	① 79 ② 88 ③ 88 ④ 88 ⑤ 60
	VC19A	「V217」	C19A-10011~C19A-10204 平成 25 年 9 月 26 日~平成 26 年 10 月 7 日	187	④ 187 ⑤ 187 ⑥ 187
		「V319」	C19A-30011~C19A-30138 平成 25 年 9 月 25 日~平成 26 年 10 月 9 日	122	④ 122 ⑤ 122 ⑥ 122
	(計 2 型式)	(計 4 車種)	(製作期間全体の範囲) 平成 25 年 9 月 25 日~平成 26 年 10 月 9 日	(計 499 台)	① 166 ② 189 ③ 190 ④ 498 ⑤ 421 ⑥ 309

< 注意事項 >

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。